

薬物乱用防止教室 7月11日(水)

昨年3月、長崎県内の高校生が大麻取締法違反容疑で逮捕・摘発されました。再発防止に向け様々な研修会が実施されたり、県内における普及啓発活動が頻繁に行われています。そのようなことを受け、昨年度から本校では1、2年生の生活委員が中心となり薬物乱用防止教室を開催しています。



生徒が問いかけ、生徒たちが考えることでこれまで学んできたことを振り返り、さらに深めることができる良い時間になったと思います。県内で同じようなことが繰り返されないよう、「しない・させない」ということを意識し、日々生活して欲しいと思いました。また、西海市の保護司のみなさまも来てくださいました。ありがとうございました。

生徒の感想文を紹介します。

○自分の好きなラッパーも大麻で逮捕されていて、大麻が身近にあるという時代になっているなと思いました。実際に同じ県の高校生が大麻を使用して逮捕されているので、自分は断れる人になりたいです。(1年男子)

○今日の薬物乱用防止教室で薬物は危険だと再認識することができました。また、クイズ形式でわかりやすかったです。もしも、人から大麻使用を勧められたり、手に入りやすい状況であっても、使用しないようにしようと思いました。友達がもしも大麻などを使用していたら止めさせたいと思います。(2年女子)



○薬物はタバコよりも依存性が強く身体への影響も大きいです。合法で使われ始めている国もあるようですが、それはあくまで医療目的です。このことを現代の若者はよく勘違いし、そんなに危なくないものだと思いがちです。薬物乱用の危なさをしっかり子ども達に教えなければならぬと思いました。(3年男子)